

福岡市東区・安曇野市友好交流推進協定

歴史と自然の魅力あふれ、人が活躍し、活力を創造するまち 福岡市東区と、北アルプスのふもとに位置する山紫水明な田園産業都市 安曇野市は、平成6年11月3日に福岡市東区と穂高町が取り交わした友好交流推進協定を継承して交流を推進する。

福岡市東区と安曇野市は、古代より九州北部で活躍し、その後、日本各地に移住したといわれる海洋民族「安曇（阿曇）族」の伝承を共有している。

この繋がりを尊重し、両地域は住民の友好交流を促進するとともに、地域の文化、特色を活かした観光振興や資源の相互活用などを通じて、両地域の発展と住民の福祉の向上を目指すものとする。

この協定締結の証として、本協定書を2通作成し、代表者の署名の上、各1通を保有する。

平成29年2月1日

福岡市東区長

小西 真弓

安曇野市長

宮澤 宗弘